

# 2 T-SPOT.TB判定基準

## 【報告対象項目】

- ・判定 T-SPOT.TB 検査の判定結果 [ (－), (＋), ハンテイホリュウ、ハンテイフカ ]
- ・パネル A = (パネル A ウェルのスポット数) - (陰性コントロールウェルのスポット数)
- ・パネル B = (パネル B ウェルのスポット数) - (陰性コントロールウェルのスポット数)
- (判定元検査結果：報告対象外)
- ・陰性コントロール (NIL)
- ・陽性コントロール

## 【判定基準】

1. 以下の計算式を用いて、パネルAおよびパネルBを算出します。

(パネルAウェルのスポット数) - (陰性コントロールウェルのスポット数) … パネルA

(パネルBウェルのスポット数) - (陰性コントロールウェルのスポット数) … パネルB

2. 1で算出したパネルA、パネルBの数値を用いて、以下の判定基準にしたがって結果を判定します。

陽性：パネルAおよびパネルBの双方、あるいはいずれか一方が8スポット以上の場合

陰性：パネルAおよびパネルBの双方が4スポット以下の場合

判定保留：パネルAおよびパネルBの双方、あるいは双方の値の最大値が5～7の場合

判定不可：陰性コントロールウェルのスポット数が10を超える場合

陽性コントロールウェルのスポット数が20未満となる場合

一部の患者T細胞はPHA溶液に十分な反応性を示さず、陽性コントロールウェルのスポット数が20未満となることがあります。そのため、パネルA又はパネルBのどちらかが陽性結果を示した場合は、陽性コントロールウェルのスポット数に関わらず「陽性」と判定します。

## 【判定保留の取扱い】

- ・結果が「判定保留」となった場合、再度血液を採取して再検査を行うことが推奨されています（他の診断方法を含む）。
- ・再検査の結果が再び「判定保留」となった場合、他の診断方法を用いるか、又は、臨床的・医学的症狀や患者背景を考慮の上、医師の判断のもとで結核菌感染の状況を総合的に診断して下さい。

陰性 コントロール	陽性 コントロール	パネル A・B の最大値	判定結果	報告値	備考
10 以下	20 以上	4 以下	陰性	(－)	
		5	判定保留	ハンテイホリュウ	再検査を推奨
	6～7				
	不問	8 以上	陽性	(＋)	
不問		判定不可	ハンテイフカ	再検査が必要	
11 以上					
10 以下	20 未満	5 以下			